

🌍 from USA 文/大山真理

## 太陽光発電所にミッキー出現!? 創出したエネルギーでエコPR



ソーラーファームを上空から見るとミッキーマウスの形になっているのがわかる。

ミッキーマウスを模った新しいソーラー施設がフロリダに登場し、大きな注目を集めている。22エーカー※もある敷地内に、4万8千枚のソーラーパネルを設置した5MW規模のソーラー施設だ。創出されたエネルギーは、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートやフォーシーズンズ・リゾート、ホテルプラザ・ブルバード沿いにあるホテルなどで使用される。ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートの環境統合ディレクターのアンジー・レナー氏は「このような施設が増えることにより、天然資源の枯渇を防げます」と話す。この取り組みに協力している電力会社「デューク・エナジー」は、フロリダ内の太陽エネルギーを、2024年までに500MWまで追加する予定だという。

※1エーカー=約0.4ha

<Walt Disney World Resort>  
[disneyworld.disney.go.com](http://disneyworld.disney.go.com)

🌍 from ITALY 文/田中美貴

## デザイン界の先端では一歩進んだ 再利用へのアプローチがトレンドに

4月中旬のミラノは、国際的インテリア見本市「ミラノサローネ」を中心に街全体が大デザインウィーク。デザイン界でも近年は省エネ、再エネ、リサイクルが注目されているが、最近では自然に戻る素材の開発や、廃材で新しい素材を生み出すなど、一歩進んだアプローチが進んでいる。例えばレクサス・デザインアワードの最優秀賞受賞者AMAM(アマム)は寒天を使ったパッケージ(写真右下)開発、若手デザイナーの登竜門といわれるコンテスト「サローネ・サテリテ」では、「Henry&co(ヘンリーアンドコー)」が自然素材に廃材を可能な限り混ぜることで新しい素材(写真左下)を開発。来場者の注目を集めた。



若手デザイナー「Henry&co」が「サローネ・サテリテ」にて発表した、竹や籐をベースに作られた新素材「TAAAC(ターク)」。

<Henry&co>[henryandco.it](http://henryandco.it)

<レクサスデザインアワード>[www.lexus-int.com/jp/lexus-design](http://www.lexus-int.com/jp/lexus-design)



寒天から作られた新素材でできた梱包材「AGAR PLASTICITY」。使用後も土壌の保水力を向上させる効果が。

🌍 from HONG KONG 文/リン美雪

## 再エネ普及が本格化! 香港政府機関の建物内を一般公開

香港の電気やガス、エスカレーターやエレベーターの安全を管理する政府機関のEMSD(機電工程署)では、再生可能エネルギーや省エネを身近に感じられるよう展示室を設置し、省エネ対策された建物内を児童や一般市民が見学できる無料のガイドツアーを提供。太陽熱温水システムやソーラーライトのある屋外エリア、2300枚の太陽光パネルが設置されている屋上などを見学できるほか、そして展示室では太陽光発電、太陽熱発電、風力発電などについてインターラクティブに学べるように工夫がされている。



展示室にある3種類の太陽光パネル。用途によって最適なパネルがあることを解説している。

<機電工程署>[www.emsd.gov.hk](http://www.emsd.gov.hk)